Coherence

series Ⅱ

取扱説明書

株式会社 太陽インターナショナル
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9
Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

はじめに

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただいたコヒレンスⅡは、世界最高級のオーディオアンプであると確信しています。綿密に設計された内部と精密に作り出されたコヒレンス専用シャーシー、製造技術の確かさは、大きな満足感と喜びを与え続けることでしょう。

コヒレンスⅡの設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

お買い上げのプリアンプは、必ず当社指定の専用パワーサプライと併用してご使用ください。シリアルナンバーは、本体のリアパネルに記載してあり、コヒレンスⅡに関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば、幸いです。

Enjoy the music!

Jeff Rowland

ジェフ・ロゥランド
ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ　プレジデント

本機の特徴

＜プリアンプ＞

・バランス（XLR）入力専用ラインアンプです。

・バランス（XLR）メイン出力とバランス（XLR）REC出力をそれぞれ2系統ずつ配置しました。

・ホームシアター用にバランス（XLR）バイパス入力を配置しました。

・XLR/RCA 変換プラグ付属により、アンバランス（RCA）入出力が可能です。

・リッスン／REC機能がそれぞれ独立しているため、どの入力チャンネルを選択してもリッスンとREC を同時に行うことができます。

・ゲイン・入力インピーダンス・モノ／ステレオ・フェイズ・R/L バランスが各チャンネル毎に設定できます。設定した値は自動的に記憶されます。

・内蔵の疑似ピンクノイズ発生機能によって、プリアンプと関連機器のブレイクインを簡単に行うことができます。

・6つの機能が付いた赤外線リモートコントロールと、リモートコントロール受信とボリュームレベル表示がついた赤外線センサー・ディスプレイユニットが標準装備されました。

・ハンダの量を飛躍的に減量させた新設計のサーフェスマウント基盤の採用により、短縮されたシグナルパスで、よりハイスピード化が可能となり、細かい音の表現力がさらに豊かになりました。

・6061 グレードのジュラルミン（航空機用）から精密に切削加工された非常に共振の少ないシャーシーを採用することで、マイクロフォニックによって生ずる歪みを徹底的に減少しました。

・マイクロプロセッサーによって全ての操作機能がコントロールされています。このプロセッサーはデジタルノイズの発生を防ぐために、操作後5秒以内にスリープモードに戻るよう設計されています。これにより演奏時にはデジタルノイズが全てカットされています。

・RF やシステムグランドループを防ぐように設計された高性能トランスを入力側だけでなく出力側にも採用し、接続機器の性能を最大限に引き出します。このトランスこそがコヒレンスの心臓部なのです。

＜パワーサプライ＞

・プリアンプから完全独立させたパワーサプライは、信頼性が最も高く、しかも寿命の長い鉛蓄電池を使用したステイブルでロゥノイズのDC電源です。

・マイクロプロセッサーでコントロールされた蓄電システムは、常に安定した最高のバッテリー性能を引き出します。

・AC／ BATT モードセレクトボタンにより、AC電源とクリーンなDC電源との切り替えが簡単に行えます。

・パワーサプライに2系統のDC出力の採用により、ケイダンス（フォノアンプ）等との併用が可能です。

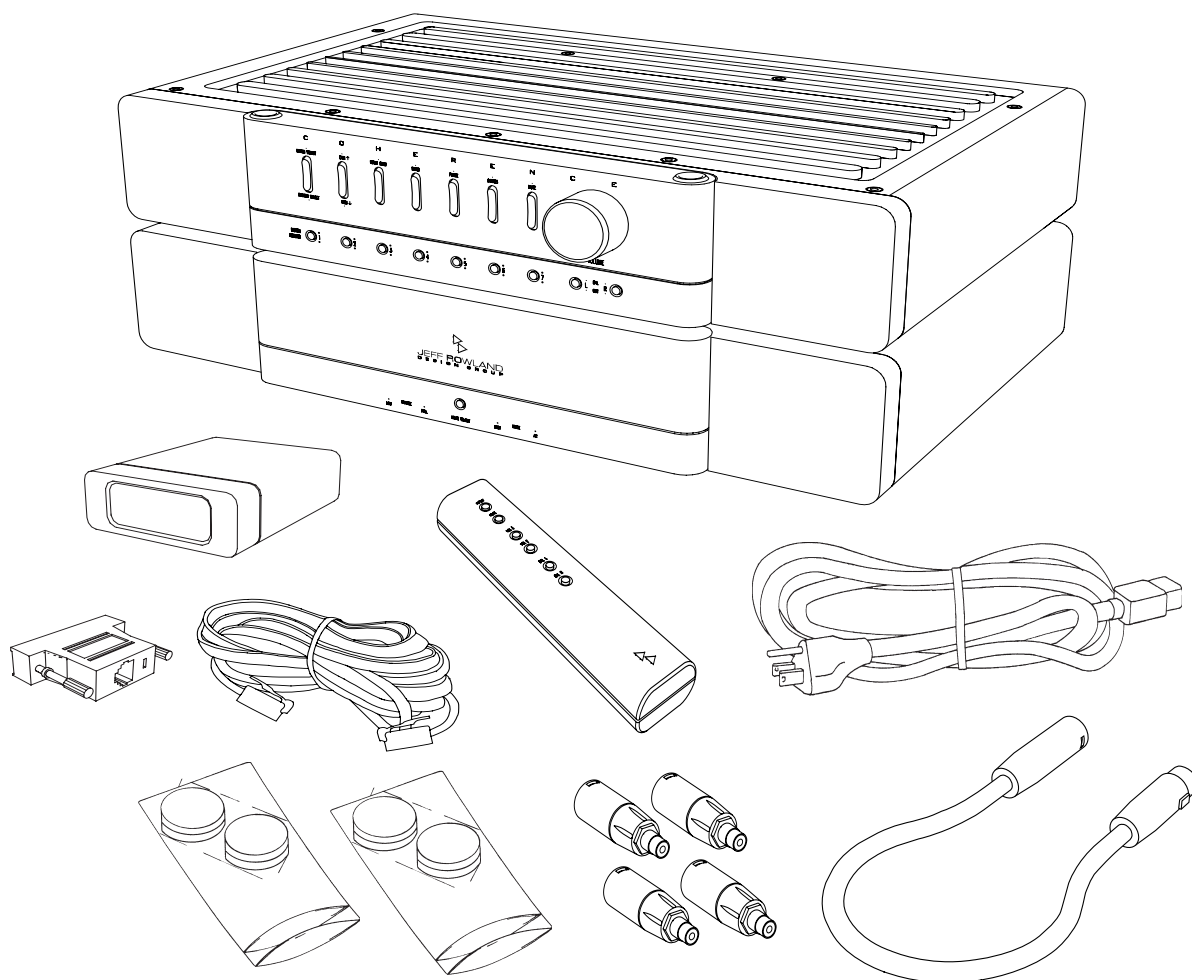
・電源部は信頼性の高い強力安定電源で、プリアンプから独立させ本体同様 6061 グレードのジュラルミンから切削加工されたシャーシーを惜しげもなく採用しました。

開梱の際に

コヒレンスのパッケージには下記のものが含まれています。

●コヒレンス　本体
●コヒレンス　パワーサプライ
●リモートコントロール
●ディスプレイユニット
●ディスプレイユニット接続ケーブル（2m）
●ディスプレイユニット接続ケーブル用アダプター
●AC電源ケーブル
●DCケーブル
● XLR/RCA 入力用変換プラグ（L/R １セット）
● XLR/RCA 出力用変換プラグ（L/R １セット）
●ソルボタン・ディスク（４枚入り2セット）
●保証登録カード
●取扱説明書

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及び引っ越し等で輸送される場合を考え、お手元に保管くださるようお勧めします。

※ 本製品は米国ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ社、及び太陽インターナショナル株式会社において外観、機能ともに入念なチェックを重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないか必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

ご使用になる前に

（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめください。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにしてください。

⚠ 警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
⚠ 注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

［設置及び使用上のご注意］

⚠ 警告

・定格電圧 100V にてご使用ください。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行ってください。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・AC電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等の加工は行わないでください。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにしてください。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないでください。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルの抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・本機は付属の専用パワーサプライと併用してご使用ください。他のパワーサプライ（自作等）との組み合わせは故障の原因となります。

⚠ 注意

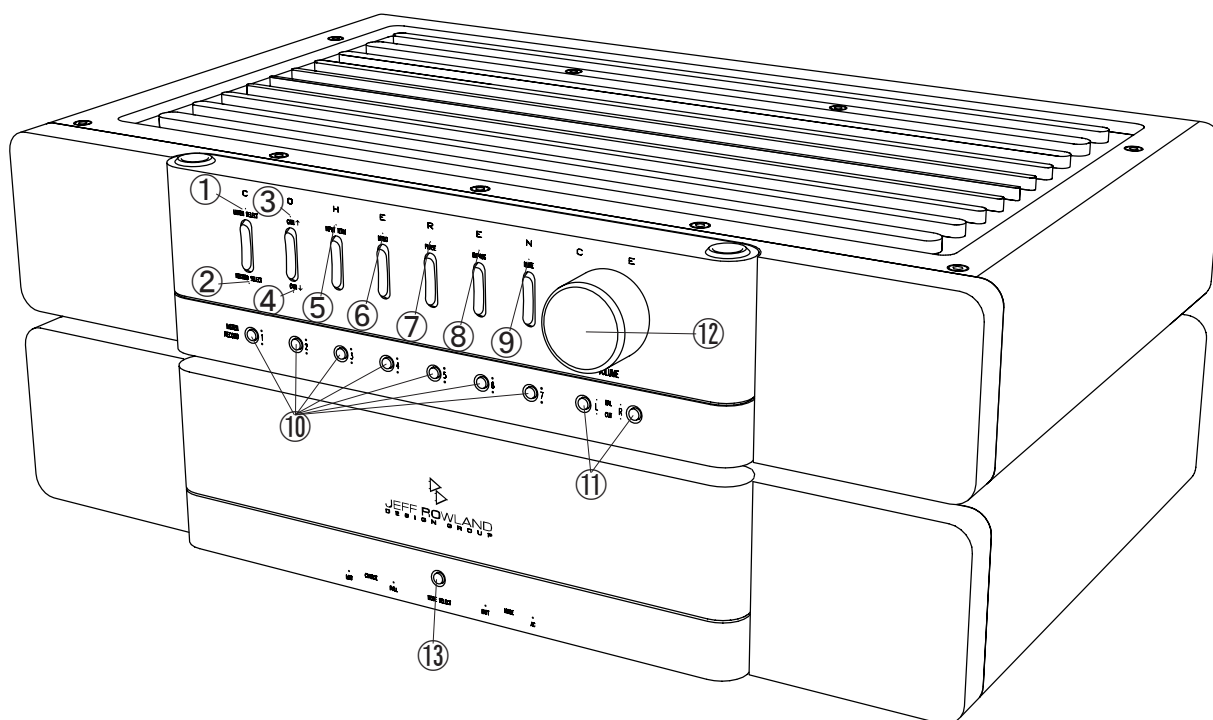
・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにしてください。
・湿度の高い場所で使用しないでください。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないでください。
・室内温度が5℃～40℃の範囲でご使用ください。
・振動が多く､水平でない場所には設置しないでください。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意してください。故障の原因になる場合があります。

［お手入れについて］

⚠ 注意

・リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずAC電源ケーブルとDCケーブルを抜き電源をお切りください。感電の原因となることがあります。
・本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

各部の名称

フロントパネル

① LISTEN SELECT..................... リッスンセレクトボタン

② RECORD SELECT .... レコードセレクトボタン

③ GAIN ↑ .... ゲイン（＋）ボタン

④ GAIN ↓ .... ゲイン（－）ボタン

⑤ INPUT TERM............................ 入力ターミネーションボタン

⑥ MONO .... モノ／ステレオ切替ボタン

⑦ PHASE .... フェイズ切替ボタン

⑧ BYPASS .... バイパスセレクトボタン

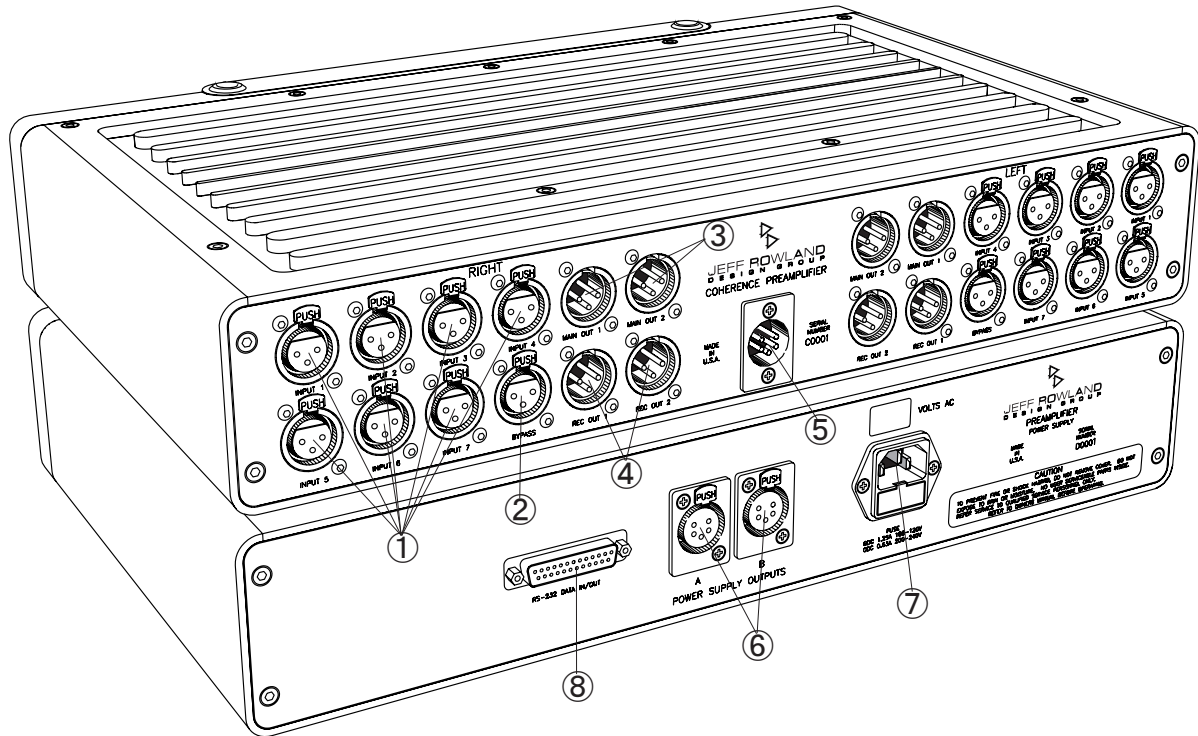
⑨ MUTE.. ミュートボタン

⑩ チャンネルセレクトボタン1～ 7

⑪ BAL L/R ／ CUT L/R.......... 左右バランス調整ボタン／左右カットボタン

⑫ VOLUME .... ボリュームコントロールつまみ

⑬ MODE SELECT .... AC／ BATT モードセレクトボタン

リアパネル

① INPUT 1 ～ 7............................ XLR 入力端子

② BYPASS INPUT...................... バイパス XLR 入力端子

③ MAIN OUTPUT 1/2............... XLR メイン出力端子

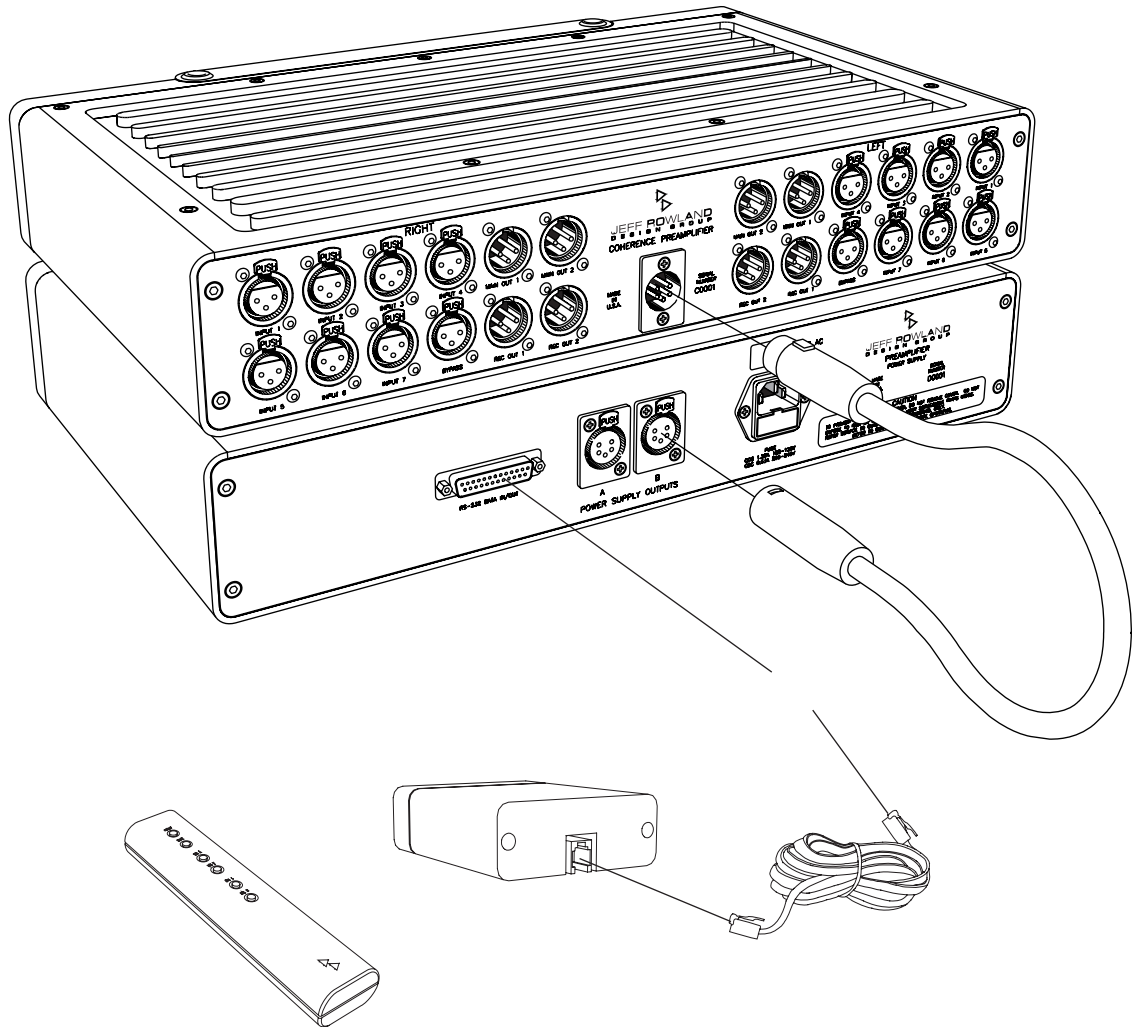
④ REC OUTPUT 1/2................. XLR REC出力端子

⑤ DC INPUT.................................. DC入力端子

⑥ DC OUTPUT A/B .... DC出力端子

⑦ AC POWER INPUT .... AC電源（100V）入力端子

⑧ RS232 DATA IN/OUT .... ディスプレイユニット接続用端子

設置と接続

［設置］

　コヒレンスパワーサプライの上に本体を重ねて、オーディオラック等へ直接設置します。本機のスタビライザー（足）はシャーシーと同じ 6061 グレードのジュラルミンを使用しているため、キズ防止のためにも付属のソルボタンディスクを使用してください。このソルボタンディスクは共振防止の役割も持っています。コヒレンス本体のスタビライザーの裏面に4枚、パワーサプライのスタビライザーの裏面に4枚それぞれ張り付けて設置してください。

［接続の手順］

①ディスプレイユニットの接続／ラインケーブル等の接続
②DCケーブルの接続
③AC電源ケーブルの接続

［リアパネルの接続］

① INPUT 1 ～ 7（XLR 入力端子）

ライン（CD、TAPE、フォノアンプ等）入力端子です。市販のバランスケーブルを使用して接続してください。本機は XLR フルバランス入力仕様です。付属の XLR/RCA 変換プラグを使用することで、RCA アンバランス入力が可能となります。

◆ NOTE ◆

本機は内部の構造上、ループによるハム音の発生等を防ぐため、チャンネル「5」の ″INPUT″ は ″REC OUT″ に接続されておりません。(″REC OUT″ を選択してもフロントパネル内のランプ（赤色）は点灯します。）従ってチャンネル「5」の信号音を録音することができませんのでこのチャンネルにはテープデッキ等の録音機器を接続されることをお勧めします。

② BYPASS INPUT（バイパス XLR 入力端子）

ホームシアター用サウンドプロセッサー等の出力端子と接続する端子です。市販のバランスケーブルを使用してください。本機は XLR フルバランス入力仕様です。付属の XLR/RCA 変換プラグを使用することで、RCA アンバランス入力が可能となります。

③ MAIN OUTPUT 1/2（XLR メイン出力端子）

パワーアンプ等と接続する端子です。市販のバランスケーブルを使用してください。付属の XLR/RCA 変換プラグを使用することで、RCA アンバランス出力が可能となります。この２系統の OUTPUT は回路的には同じモノですので、どちらを使用してもかまいません。

④ REC OUTPUT 1/2（XLR REC出力端子）

録音機器等の入力端子と接続する端子です。市販のバランスケーブルを使用してください。付属の XLR/RCA 変換プラグを使用することで、RCA アンバランス出力が可能となります。

⑤ DC INPUT（DC入力端子）～ ⑥ DC OUTPUT A/B（DC出力端子）

付属のDCケーブルで本体とパワーサプライとを接続します。

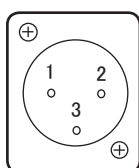
※ ⑥ OUTPUT A と OUTPUT B は回路的には同じものですので、どちらを使用してもかまいません。

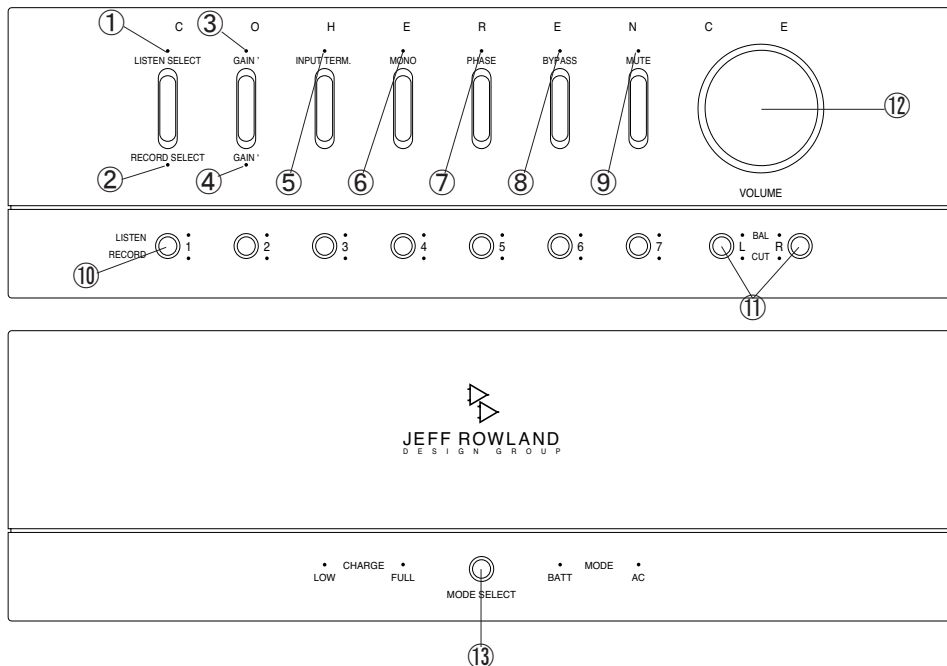
⑦ AC POWER INPUT（AC電源 100V 入力端子）

付属のAC電源ケーブルを接続します。この時にアンプ内部のリレー回路が働き、「カチン」という音がするとともにフロントパネルの各ランプが点灯します。

⑧ RS232DATA IN/OUT（ディスプレイユニット接続用端子）

付属のディスプレイユニット接続ケーブルとアダプターを使用し、ディスプレイユニットとを接続します。

本機の [BALANCED XLR] 端子はキャノン仕様のバランス型入力端子です。

＃1　シールド　（G）
＃2　コールド　（－）
＃3　ホット　（＋）

ご使用方法

［フロントパネル］

本機にはマイクロプロセッサーを搭載しています。このマイクロプロセッサーに、各チャンネル毎に設定したボリュームコントロール以外の全ての機能が記録されます。例えばチャンネル「1」をセレクトして " ゲインを +5dB"、" フェイズを逆位相 " に設定します。次に他のチャンネルをセレクトした後で再びチャンネル「1」に戻すと、最初に設定してメモリーされた状態で復帰します。

※ このメモリー機能は、電源が OFF になるとリセットされてしまいます。

① LISTEN SELECT（リッスンセレクトボタン）

このボタンの上部を押すと LISTEN SELECT ランプが点灯し、1 〜 7 のインプットでプリアンプのメイン出力端子を通じてリスニングができるようになります。LISTEN SELECT ランプは RECORD SELECT ボタン（同じスイッチの下部）を押さない限り消えません。

② RECORD SELECT（レコードセレクトボタン）

このボタンの下部を押すと RECORD SELECT ランプが点灯し、1 〜 7 のインプットでプリアンプのREC 出力端子を通じて録音できるようになります。RECORD SELECT ランプは LISTEN SELECT ボタン（同じスイッチの上部）を押さない限り消えません。

③ GAIN ↑ （ゲイン（＋））

このボタンの上部を1回押す毎にゲインは約 0.5dB 上昇し、最大で 20dB 高くなります。例えば 12 回押すと +6dB のゲインが得られます。スイッチが押されたときに瞬間的に GAIN ↑ランプが点灯します。初期設定はフラットになっています。

④ GAIN ↓ （ゲイン（－））

このボタンの下部を1回押す毎にゲインは約 0.5dB 下降し、最小でノーマルノーマルゲインより 20dB 低くなります。初期設定はフラットになっています。

⑤ INPUT TERM.（インプットターミネーションボタン）

入力インピーダンスを 18k/600Ω に切り替えるボタンです。このボタンの上部を押すと 600Ω 入力インピーダンスにマッチされ、INPUT TERM. ランプが点灯します。このボタンはインピーダンスマッチングを取るなど多くの利点がありますが、他の接続機器がすべて低インピーダンスを正しくドライブできるとは限りません。従って、最終的にはお客様ご自身のお好みのポジションを選択なさることをお勧めいたします。ちなみにプロ機器、ベル研究所時代の有線長距離電話などは 600Ω になっており、これはケーブルのインピーダンスにマッチしたものです。このスイッチの下部を押すと、元に復帰します。この場合ランプは消灯し、標準の 18kΩ 入力インピーダンスとなります。

⑥ MONO（モノ／ステレオ切替ボタン）

このボタンの上部を押すと、左・右チャンネルを統合しモノラルとなり、MONO ランプが点灯します。統合はシグナルチェーンの最終段階で行われます。従ってどちらのチャンネルも反対側のチャンネルをカットすることによりモノラルソースとなります。このスイッチの下部を押すと通常のステレオモードに復帰し、MONO ランプが消灯します。

⑦ PHASE（フェイズ切替ボタン）

このボタンの上部を押すと、フェイズが 180 度逆相になります。逆相の時には PHASE ランプが点灯します。このスイッチの下部を押しますと PHASE ランプが消灯し、位相はノーマルになります。

⑧ BYPASS（バイパスセレクトボタン）

このボタンの上部を押すと､リアパネルのバイパス入力が選択されます。バイパス入力は特別なもので、ゲインがゼロに設定され、モード、オフセット、バランスがありません。録音機器以外のすべての機能が使用停止となり、RECORD インプットが選択されていた場合にはこのランプを除いてすべてのランプが消え BYPASS ランプが点灯します。このスイッチの下部を押すか、リッスンインプットのどれかを選択すると普通のモードに戻ります。

⑨ MUTE（ミュートボタン）

このボタンの上部を押すと出力信号がミュートされ、MUTE ランプが点灯します。（パワーサプライ・フロントパネル内のディスプレイは〝――〞になります。）ケーブルの抜き差しを行うときに大変便利です。下部を押すとミュートが外れ、MUTE ランプが消えます。

⑩チャンネルセレクトボタン（1～ 7）

接続した入力機器のチャンネルセレクトボタンです。このボタンでリッスンとRECの両方を選択することが可能です。

⑪ BAL L/R（左右バランス調整ボタン）

MUTE ランプ未点灯時

L/R バランス調整が可能です。ボタンを押す毎に片方のチャンネルが 0.5dB シフトされ、もう片方は逆方向に 0.5dB シフトされるため左右トータルのバランスは 1dB シフトされます。この方法を採用することによって絶対音量が一定に保たれます。最大片チャンネルで 3dB のシフトが可能です。バランスがシフトしているときはそのチャンネル側のランプが点灯し、フラットの場合にはランプは両方とも点灯しません。

CUT L/R（左右ミュートボタン）

MUTE ランプ点灯時

片チャンネルの CUT（ミュート）が可能です。ボタンを押した方のチャンネルがミュートされます。⑨ MUTE ボタンの下部を押すと通常のモードに復帰します。

⑫ VOLUME（ボリュームコントロール）

時計回りに回すと音量が上がり、反対に回すと下がります。音量のコントロールは、0.5dB 刻みで

63.5dB までに設定されています。この 63.5dB のレンジはゲインボタンによるオーバーオールゲインの設定と関係なく一定に保たれます。最小や最大の音量セッティングを示すメカニカルエンドストップは使用されていません。音量のレベルはディスプレイユニットに数字で表示されます。

⑬ MODE SELECT　（AC／ BATT モードセレクトボタン）

　AC電源とバッテリー電源の切り替えができます。選択した方のランプが点灯します。
※BATT モードではバッテリーが十分に充電された状態でご使用ください。本機はACモードによってバッテリーの充電を自動的に行うように設計されています。

★ピンクノイズ発生方法

　⑨ MUTE ボタンの上部を押し、次に⑧ BYPASS ボタンの下部を押して下さい。これで本機は自動的に内部回路全体にピンクノイズを送り出しブレークインを始めます。本機のアウトプットでのピンクノイズの音量は⑫ VOLUME でコントロールして下さい。⑩チャンネルセレクトボタンのどれか選択しますと通常のモードに復帰します。

◆ NOTE ◆

★ピンクノイズについて

　コヒレンスのポテンシャルを最大限に生かすために、約 200 時間のブレークイン（エージング期間）をお勧めします。このブレークインを簡単に確実に行うために、本機はピンクノイズ発生機能が付いています。この方法で本機の他にケーブル、コンポーネント、スピーカーのブレークインが可能です。このピンクノイズは右が正相、左が逆相、とそれぞれ出力されており、両チャンネルのスピーカーの正面をぴったり向かい合わせにすることにより、このノイズを無音レベルまで近づけることができます。（ウーファー等のユニットは大きく振動しているが、逆相にすることで音が出なくなる現象。）この方法で夜間でも長期間のブレークインが可能です。

◆ NOTE ◆

　本機には高性能のマイクロプロセッサーを搭載しているため、静電気等による誤作動が起こりエラー等が発生することがあります。その場合には、パワーサプライ内の充電回路をリセットする必要があります。このモードセレクトボタンを5秒ほど押し続けてください。数秒後アンプ内部のリレー回路が働き、「カチン」という音がするとともにフロントパネルの各ランプがいったん消灯し、その直後再び点灯し、復帰します。その際、記憶された各チャンネルの設定はリセットされ、初期状態になりますのでご注意下さい。

バッテリー電源について

本機はパワーサプライの⑬ MODE SELECT（AC/BATT モードセレクトボタン）により､AC電源とピュアーなバッテリー電源の切り替えが簡単に行えます。これは演奏中、聴きながらでもポジションの選択が可能です。

○ MODE AC/BATT（AC/BATT モードランプ）

AC モード時は AC のランプ (ブルー) が、BATT モード時は BATT のランプ (オレンジ) が点灯します。

○ CHARGE FULL/LOW（FULL/LOW バッテリーチャージランプ）

バッテリーの容量が 100%のときは、FULL チャージランプ (グリーン) が点灯します。BATT モードで少しでもバッテリーが消費されるとこのランプは消灯し、50%近くまで消費されてくると、LOW チャージランプ (レッド) が点灯します。この LOW チャージランプが点灯した場合､直ちに BATT モードから AC モードに切り替えてバッテリーを充電して下さい。

※ ACモードの時は、演奏中でもバッテリーの充電を同時に行います。

※ この2つのランプは AC モード時・BATT モード時に関係なく、その時のバッテリーの容量を示します。

◆ NOTE ◆

LOW チャージランプが点灯した場合、直ちに BATT モードから AC モードに切り替えて下さい。もしうっかり BATT モードのまま使用し続けてしまってもバッテリーの残量が 50%以下になると、アンプは自動的にバッテリー保護のためいったん電源を切り、その直後 AC モードに切り替わります。その際マイクロプロセッサーが誤作動を起こしエラー等が発生することがあります。その場合には、パワーサプライ内の充電回路をリセットする必要があります。この⑬ MODE SELECT ボタンを5秒ほど押し続けてください。数秒後アンプ内部のリレー回路が働き、「カチン」という音がするとともにフロントパネルの各ランプがいったん消灯し、その直後再び点灯し、復帰します。その際、記憶された各チャンネルの設定はリセットされ、初期状態になりますのでご注意下さい。

◆ NOTE ◆

本機をご使用後は、⑬ MODE SELECT ボタンを AC モードにして下さい。これによりバッテリーの充電はご使用になっていないときに完全に行われ、常にフルチャージの状態で音楽の演奏をお楽しみいただけます。

⚠ 注意　　必ず行ってください。

本機を長時間使用しない場合、バッテリー保護の為次の作業を必ず行って下さい。AC電源ケーブルを抜いて⑬ MODE SELECT ボタンを5秒ほど押し続け、「カチン」という音がしたら、最後にDCケーブルを抜きます。これでバッテリーの放電を防ぐことができます。この作業を行わないで電源ケーブル等を抜いてしまうと、バッテリーの寿命を早めてしまいますのでご注意下さい。

⚠ 注意

BATT モードにて使用している場合でも、AC電源ケーブルは必ず接続したままご使用下さい。AC電源ケーブルを抜いてバッテリー稼働だけでの使用も可能ですが、そのまま BATT モードでご使用になるとバッテリーの寿命を早めたり、又故障の原因となります。

リモートコントロールについて

［リモートコントロール］

　入力セレクター、ミュート、ボリュームコントロール、左右バランス調整が操作可能です。リモートコントロールの送信部をディスプレイユニットの受光部 (a) に向けて操作してください。

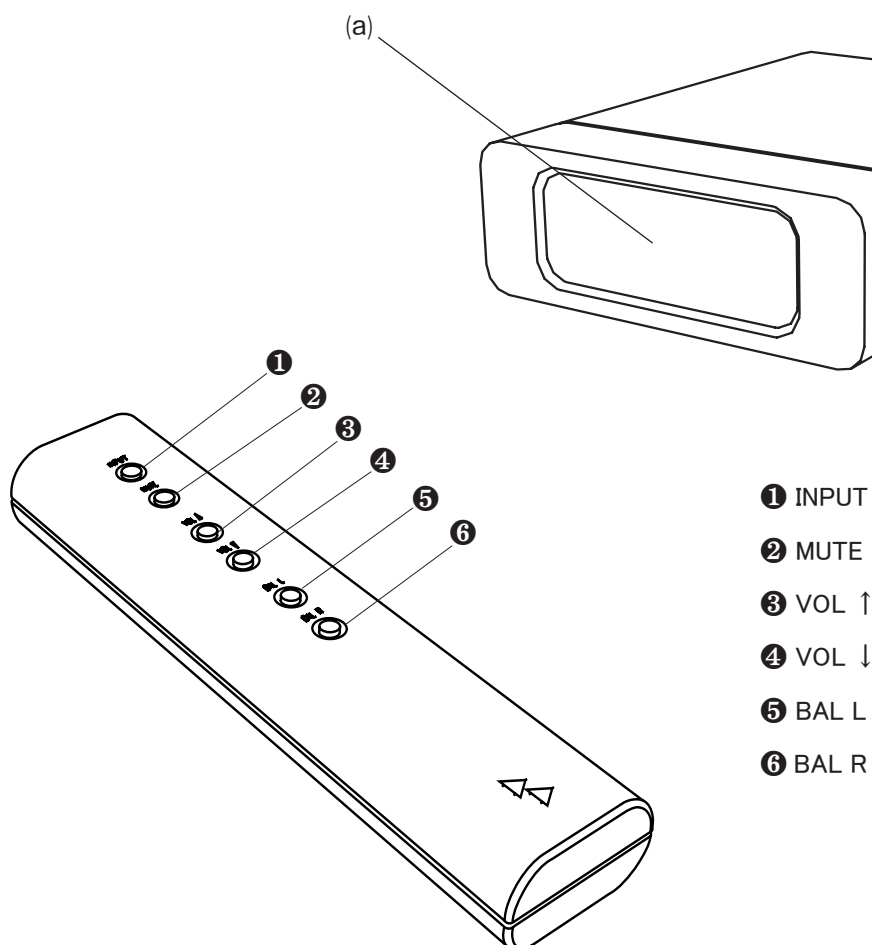
(a) ボリュームレベルディスプレイ／リモコン受光部

　ディスプレイユニットには 00.0dB から 0.5dB 刻みで 63.5dB までのボリュームレベルが数字で表示されます。

［リモートコントロールの電池交換について］

　裏面にあるプラスネジ（２本）をゆるめ、裏ぶたを取り外してください。乾電池は 9 V型 (006P) を使用してください。

◆ NOTE ◆

　本機のリモートコントロールは赤外線方式のため、他の電化製品等でリモートコントロールをご使用時に、テレビの音量が連動して上がってしまうなど、まれに誤作動をすることがあります。その場合は該当機器を離すか、又は当社サービス課までご連絡ください。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない

・パワーサプライのAC電源ケーブルは、正しく接続されていますか。

・DCケーブルは、正しく接続されていますか。

音が出ない

・オーディオケーブルは、正しく接続されていますか。

・アンプのボリュームは、上がっていますか。

・アンプのラインセレクターは、合っていますか。

・ミュートボタンが押されていませんか。

音にハムが入っている

・アンバランス（RCA）接続の時、付属の XLR/RCA 変換プラグが正しく接続されていますか。
（付属の変換プラグ以外のものをご使用になるとハム音が入る場合がありますのでご注意ください。）

リモートコントロールが働かない

・電池がきれていませんか。

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

◆ NOTE ◆

本機には高性能のマイクロプロセッサーを搭載しているため、まれに静電気等による誤作動が起こりエラー等が発生することがあります。その場合には、パワーサプライ内の充電回路をリセットする必要があります。このモードセレクトボタンを5秒ほど押し続けてください。数秒後アンプ内部のリレー回路が働き、「カチン」という音がするとともにフロントパネルの各ランプがいったん消灯し、その直後再び点灯し、復帰します。その際、記憶された各チャンネルの設定はリセットされ、初期状態になりますのでご注意下さい。

◆ NOTE ◆

本機のパワーサプライには、信頼性の最も高い鉛蓄電池を使用しています。このバッテリーには寿命がありますので、BATT モードでの連続使用時間が通常よりも短かくなったと考じられるようになったら、バッテリーの交換時期です。その際は必ずお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで交換の依頼をしてください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後10日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより1年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

◆ NOTE ◆

本機のパワーサプライには、信頼性の最も高い鉛蓄電池を使用しています。このバッテリーには寿命がありますので、BATT モードでの連続使用時間が通常よりも短かくなったと考じられるようになったら、バッテリーの交換時期です。その際は必ずお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで交換の依頼をしてください。

仕様

＜本体＞

項目	仕様
入力端子	
バランス７チャンネル（XLR）	
バイパス	１チャンネル（XLR）
出力端子	
バランス２チャンネル（XLR）	
REC	２チャンネル（XLR）
オーバーオールゲイン	各入力チャンネル毎に調整可能 −20dB 〜 +20dB（0.5dB 刻み）
入力インピーダンス	切替可能
アンバランス	36k ／ 600(Ω)
バランス	36k ／ 600(Ω)
出力インピーダンス	
アンバランス	50Ω
バランス	50Ω
最大入力レベル	0dB ゲインで 13 V R.M.S.
最大出力レベル	13 V R.M.S.(24dB m)
アウトプットノイズレベル	12 マイクロボルト 20 〜 20kHz, 0dB ゲイン
シグナル対ノイズ比	96dB 以上
チャンネルセパレーション	100dB 以上　@ 20 〜 20kHz
周波数反応	5Hz 〜 160kHz, −3dB
THD + ノイズ　0.0016% , 127 の等幅段階	
ゲインレンジ	63.5dB
ゲイン分解能	0.5dB ±0.03dB
外寸（cm）	44.5 × 30.9 × 9.4
重量	18kg

＜パワーサプライ＞

項目	仕様
DC出力端子	２チャンネル（専用コネクター端子）
消費電力	最大４０W、通常１０W
電圧	100V, 50/60Hz
バッテリー	12V　7.2A/h　２個　鉛蓄電池
外寸（cm）	44.5 × 30.9 × 9.4
重量	19.5kg

＜リモートコントロール＞

項目	仕様
使用乾電池	９V型（006P）

※ 本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

98-7-1
太陽インターナショナル